

小学校の適正規模化に関わる 基本方針の一部見直しを行いました。

甲府市教育委員会

(新紺屋小学校、朝日小学校及び北新小学校)

平成 21 年 5 月

1 経過等

市立小学校の適正規模化については、市民参加と情報の公開を基調に、多くの方々と議論を深めていく事が大切であることから、市長対話を実施し、意見の集約に努めてきた。

こうした市長対話での多くの意見に基づき、平成 16 年 4 月に基本方針を策定し、適正規模化を推進してきたところである。

(1) 基本方針 (平成 16 年 4 月)

『新紺屋・朝日・北新小学校は、

何れかの学校において、1 学年の児童数が 30 人を下回る状況が複数学年に出現、
または確実視される場合には、早急に適正規模化を図る。』

その後、基本方針策定時には想定できなかった新たな状況 (マンション建設など) が見受けられたため、本地域については、「今後の取り組み」として次のとおり定めた。

(2) 今後の取り組み (平成 17 年 9 月)

『当該地区には駅北口の再開発や大型マンション等の建設が進行しており、

これらの開発がどの程度児童数に影響を及ぼすのか、

今後、ある程度の期間をかけて開発動向や児童数の推移・実態を把握し、

適正規模化を推進していくものとする。』

2 マンション建設に伴う児童数の動向

中心市街地のマンション建設については、地価の下落、東京に近い立地条件などにより、住環境の整備が進み、ここ数年の傾向として中心市街地への回帰による人口の増加が見受けられる。

新紺屋・朝日地区でこの 10 年間に建設されたマンション等は 9 物件、626 戸であり、そのうち指定校へ通学している児童数は 67 人 (10.7%) であった。クラス編成に影響を及ぼすほどの児童数の増加ではないものの一定規模の児童確保には大いに寄与している状況であるほか、甲府駅北口の開発が進捗している状況がうかがえる。

当該地区のマンション等に居住する児童数の状況 (平成 20 年 6 月調査) (割合は、児童数/戸数)

地 区	マンション数	戸数	児童数	割合
新紺屋・朝日地区 (H11~16 年完成)	合計 塩部団地ほか 5	366 戸	45 人	12.3%
新紺屋・朝日地区 (H17・18 年完成)	合計 塩部団地ほか 2	260 戸	22 人	8.5%
合 計	9 物件	626 戸	67 人	10.7%

3 基本方針の見直しの考え方

新紺屋地区においては甲府駅北口の再開発等による影響、朝日地区においては県営住宅の整備が完了し、多くの児童が当該公営住宅から通学する状況があり、北新地区においては市営住宅（むつみ荘、竜雲荘、北嶺荘）の建て替えや周辺環境の整備が計画されるなど、当該地域においては発展が見込まれ、人口増も期待できる状況にある。

こうしたことから、新紺屋小学校、朝日小学校及び北新小学校については存続とし、次のとおり基本方針の見直しを行う。

基本方針の見直し内容

『 新紺屋小学校、朝日小学校及び北新小学校は、
甲府駅北口の再開発の動向、県営塩部団地の居住状況、
北新3団地の建替え計画等を考慮し、存続する。 』

4 学校施設耐震化整備計画の概況

学校名	区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
朝日小学校	校舎	実施設計	改築工事(前)	改築工事(後)
	屋内運動場		補強設計	補強工事
北新小学校	校舎	実施設計	改築工事(前)	改築工事(後)
	屋内運動場	実施設計	改築工事	